

大分県下専門職能団体 (拡大運営会議構成団体) 活動報告

<記載項目>

- ①会の現状
- ②地域リハ関連の活動・取り組み
- ③地域リハ活動における課題・今後の展開

(一社) 大分県医療ソーシャルワーカー協会

会長 井元 哲也



1. 協会の現況

<正会員数> 258名(平成28年3月31日時点) 賛助会員 6団体

<執行部>会長 副会長 常任理事 理事 計15名

<研修部>

【初任者研修会】

主に実務経験3年未満の初任者を対象に全6回実施した。

開催日：平成27年6月5日、6月14日、7月18日、8月9日、8月28日、9月27日

【初任者フォローアップ研修Ⅰ・Ⅱ】

実務経験2年目～5年目までのソーシャルワーカーで初任者研修会「事例検討の方法」受講修了者又は、事例検討会に参加経験のある方を対象に実施

開催日：平成27年9月27日

【スーパーバイザー(実習指導者)養成研修】

主に経験年数5年以上の会員を対象に全5回開催した。

開催日：平成27年6月14日、7月5日、8月9日、9月6日、10月25日

【スーパーバイザー(実習指導者)フォローアップ研修】

「スーパーバイザー(実習指導者)養成研修」修了証受取者を対象として、組織内の後進育成や社会福祉専門職の養成教育過程における現場実習時における知識の向上・再確認のみならず、組織や地域、医療福祉分野における他専門職種に対し自らの専門性を説明できる能力の向上を目的とし開催した。

開催日：平成28年2月7日

【MSW実践におけるリーダー専門研修】

医療ソーシャルワーカーとして10年以上の実務経験がある者 又は、スーパーバイザー(実習指導者)養成研修を修了した者を対象に、医療・介護連携体制構築において、地域の中で提言、実践、教育できるリーダー的MSWを育成することを目的として全7回開催した。

開催日：平成27年9月6日、10月18日、10月25日、11月8日、

平成28年2月7日、2月28日、3月6日

【公開セミナー】参加者：94名

全会員、相談支援専門職及び、医療福祉分野の専門職の者を対象に知識・技術の向上並びに、医療福祉分野における多専門職に対しソーシャルワーク実践の周知を図ることを目的として開催した。

場 所：大分県看護研修会館

<ネットワーク推進部>

- 1) 地区コミュニケーション会議・懇親会の実施（通称 地区コミ会議）
- 2) リレーフォーライフ 2016 への参加・運営
開催日：平成 27 年 10 月 10 日（土）～ 11 日（日）
場所：大分スポーツ公園 大芝生広場 協会員 44 名参加
- 3) センターまつり&げんきフェア 2015 への参加
開催日：平成 27 年 11 月 1 日（日） 場所：大分県社会福祉介護研修センター

<学術部>

「ソーシャルワーカーのやりがい」の論文を完成し、理事による査読を経て『ソーシャルワーク研究』へ投稿した。

<広報部>

- 1) ホームページの更新
- 2) Facebook の運用と管理
- 3) メールマガジンの普及活動と情報発信
- 4) 広報誌の発行
- 5) 啓発活動

<災害部>

- 1) 27 年度は、大分県が発表している南海トラフの巨大地震発生時の津波想定マップを元に、県下の病院・有床診療所及び、透析実施医療機関、産婦人科医療機関、介護老人保健施設、介護老人福祉施設の情報を組み合わせ、マップ化した。
- 2) 大分県ボランティアセンターの年間研修計画情報を共有し、専門ボランティアへの登録を行った。
- 3) 平成 27 年 3 月 27 日（日）には災害ソーシャルワーク研修を実施した。

II. 地域リハ関連の活動・取り組み（下記内容に伴う会議について省略）

大分県地域リハビリテーション研究会／大分県保健医療団体協議会／大分市在宅医療・介護連携会議／大分県医療計画策定協議会／大分県病院学会／大分県高次機能障がい者相談支援体制連携調整委員会／大分市慢性疾患児童等地域支援協議会

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

医療と介護の連携をはじめ、地域リハビリテーション、地域包括ケア推進における地域連携において医療ソーシャルワーカーが求められている役割は大きい。当協会においては個人を支援するうえで最も重要となる個人の価値を尊重し、自己決定における支援を進める視点を持ち、地域生活の実現に向けた支援を進めていくソーシャルワーカーの育成に寄与し続けることで、地域福祉向上の一端を担っていきたいと考えています。

公益社団法人 大分県栄養士会

会長 安部 澄子



I. 会の現状

会員数 768 名（平成 28 年 3 月 31 日現在）

職域分野（7）		支 部（7）
（1）学校健康教育	46 名	大 分（大分市・由布市）
（2）公衆衛生	53 名	別 府（別府市）
（3）教育・研究	33 名	東 部（日出・国東・杵築）
（4）勤労者支援	13 名	北 部（宇佐・中津・豊後高田）
（5）地域活動	153 名	豊 肥（竹田・豊後大野）
（6）医 療	304 名	南 部（佐伯・臼杵・津久見）
（7）福 祉	166 名	西 部（日田・玖珠）

II. 地域リハ関連の活動・取組

関係会議・研修会運営等への出席

①大分地域リハビリテーション研究会運営部会

大分地域リハビリテーション研究会役員会

②第 12 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研修会合同研修会

③おおいた食のリハビリテーション研究会

第 17 回合同研修会（H27.7 月）

第 18 回合同研修会（H28.3 月）

（栄養士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会・介護福祉士会）

④大分県保健医療団体協議会

第 16 回げんきフェア（H27.11 月）

⑤大分県地域包括ケア推進大会

大分県地域包括ケアシステム研修会講師派遣

公益社団法人沖縄県栄養士会

公益社団法人長崎県栄養士会

公益社団法人福岡県栄養士会

大分県における地域ケア会議

（専門職種としての管理栄養士の役割）

⑥大分県地域包括支援センターリハ職等配置支援事業（人材育成事業）

（大分県委託事業） H27.6.8.9.11 月

⑦厚生労働省国庫補助事業

平成 27 年度栄養ケア活動支援整備事業

豊の国湯けむりプロジェクトⅢ

在宅ケア・医療・介護との連携

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

・課題

- ①医療と介護との連携による在宅支援
高齢者の低栄養の改善・疾病の重症化予防
- ②地域ケア会議での栄養ケア・マネジメントに対する理解
専門職としてのスキルアップ、管理栄養士の視点の統一

・今後の展開

- ①管理栄養士に対するスキルアップ研修の実施
栄養・食支援について専門的な視点から個人に対する栄養アセスメントを理解し適正な支援が出来るようスキルアップが重要であり、管理栄養士・栄養士の質の向上を計るための研修会を実施する。
- ②他職種及び地域連携を密にして、食を通して生活を整えていく事業を展開する。
- ③在宅訪問栄養指導の実際
高齢者の栄養改善は、食生活全般を見る必要があるため、複合的な（疾患、病状、栄養状態等）健康課題を持つ高齢者に対しての栄養及び食事の指導が必要である。特に「第二次生涯健康県おおいた21」策定計画において各分野の取り組みについて協力し、介護予防にもつながる在宅訪問栄養指導の重要性を強く感じている。潜在管理栄養士を発掘し研修会を実施する。経験者を担保し医療と介護の連携を密にして介護予防にもつながる在宅訪問指導の実現を計りたい。
- ④健康寿命延伸に向けた取り組みについて
高齢者の介護予防・疾病の重症化予防、自立支援・QOLの向上を目指し低栄養等に対しての栄養食生活支援を行う。
- ⑤栄養ケア・ステーション事業の充実
電話相談事業、栄養・食生活に関する総合相談事業等
- ⑥障害者（児）等に関する取り組みが必要ではないかと考えている

公益社団法人として県民の公衆衛生に寄与することにより社会的責務を果たすことを目的として事業を展開しています。

NPO 大分音楽療法研究会

会長 児玉典子



①概要

「音楽療法」とは、リズム・メロディー・ハーモニー等の様々な音楽要素を心身の回復に用いる技法で、本邦では(日本音楽療法学会:会員数約1万人)が中心になり、毎年“音楽療法士”を認定し、普及・啓発に努め、近年では、医療・リハビリ・福祉・教育など様々な現場で取り入れられております。

NPO大分音楽療法研究会は平成9年(1997年)の発足以来、年6回をベースとして勉強会を行い、年2回の会報は会員だけでなく関係団体等にも配布をしております。

現在の会員数は、音楽療法実践者・施設関係団体等を併せ約60名が在籍し(年会費6,000円)音楽療法に興味のある方なら誰でも気軽にご参加いただけることを信条としています。

大分県においても、音楽療法は障がい児・者療育、精神障がい者、脳卒中やパーキンソン病患者様などのリハビリ、認知症高齢者の生きがい支援など、多くの分野で取り入れられております。

県内には約20数名の<日本音楽療法学会認定音楽療法士>が活動しておりますが、なにぶん同資格は、学会認定の民間資格(国家資格化されていない)という状況にあり、医療・福祉・教育分野での広がりはなかなか厳しい状況と言わざるを得ません。周囲の施設の方々のご理解・ご協力なくしては、その現場はなかなか確保できないというのが現状です。

②平成27年度の活動内容

5月31日(日曜日) 13:30～16:30 大分県医師会館6階第1研修室

- ・勉強会「生活に不安を抱えている人々と出会ったら～ソーシャルワーカーの専門性を通して～」
講師：岡江 晃児氏(独立行政法人国立機構大分医療センター社会福祉士(医療ソーシャルワーカー))

6月28日(日曜日) 13:30～16:30 大分県医師会館6階第1研修室

- ・勉強会「心療内科における最近の話題について」
講師：熊本 庄二郎氏(くまもとココロクリニック院長、精神保健指定医、
日本音楽療法学会認定音楽療法士、当会副会長)

8月23日(日曜日) 13:30～16:30 アステム大分4階会議室

- ・勉強会「STの役割～コミュニケーション支援を通して」
講師：猪原 智香子氏(井野辺病院リハビリテーション部 言語聴覚士)
- ・勉強会『音楽療法士になるための新認定制度について』
講師：川野 真実氏(杵築オレンジ病院 認定音楽療法士)

11月29日(日曜日) 10:00～16:30 大分県医師会館6階第1研修室

- ・音楽療法セミナー『口腔機能パワーアップ大作戦～音楽で「認知症」「ドライマウス」を予防する～』
講師：甲谷 至氏(歯科医師、神奈川リハビリテーション病院歯科口腔外科部長、
日本音楽療法学会認定音楽療法士)

平成28年2月7日(日曜日) 13:30～16:30 大分県医師会館6階第1研修室

- ・勉強会『障害者支援施設「にじ」における社会復帰への取り組み』
～高次脳機能障害者へのグループワークを通して～
講師：加藤 和恵氏(別府リハビリテーションセンター 理学療法士)

- ・勉強会『作業療法と音楽療法の拮がり』～対象者の生活につながる支援～
講師：利光 佳子氏（ハートクリニック 作業療法士）

3月27日（日曜日）13：30～16：30 大分県医師会館6階第1研修室

- ・勉強会『障がい児の音楽療法～保育士としての発達支援を通して』
講師：児玉 典子氏（りずむらんど主催、NPO大分音楽療法研究会会長、
日本音楽療法学会認定音楽療法士）

③平成28年度の活動計画

5月15日（日曜日）13：30～16：30 アステム大分4F

- ・勉強会 テーマ『認知症のケアについて』
講師：小野 隆宏氏（医療法人優心会 ハートクリニック院長）

6月26日（日曜日）13：30～16：30 大分県医師会館6F第1研修室

- ・勉強会&シンポジウム『発会20年を振り返り、今後の研究会の在り方を考える』
シンポジスト 熊本 庄二郎氏（くまもとココロクリニック院長、認定音楽療法士）
塚原 敬和氏（大分音楽療法研究会事務局長）
児玉 典子氏（りずむらんど、大分音楽療法研究会会長、認定音楽療法士）
安部 ゆかり氏（優心会 ハートクリニック、認定音楽療法士）

8月21日（日曜日）13：30～16：30 大分県医師会館6F第1研修室

- ・勉強会『81歳 私の音楽人生を振り返って（仮）』
講師：堀 義孝氏（大分音楽療法研究会副会長）
- ・事例検討会『障がい者支援施設での音楽療法』～初めてのこころみ～
発表者：清家 祐香梨氏（佐伯市・介護福祉士）

10月23日（日曜日）10：00～16：30 場所（未定）

- ・音楽療法セミナー 20周年記念公演『松井紀和のすべて（仮）』
講師：松井 紀和氏（精神科医、日本臨床心理研究所長、認定音楽療法士）

平成29年2月 未定 日（日曜日）13：30～16：30 場所（未定）

- ・勉強会「これが継続の成功則」『施設・自治体・保護者が離さない音楽療法士の特徴（仮）』
～実用書出版から確信する音楽療法ニーズ～
講師：北島 京子氏（あおぞら音楽社 代表取締役）

3月 未定 日（日曜日）13：30～16：30 場所（未定）

- ・事例検討 発表者：木村八重子氏（認定音楽療法士） 発表者：井上直子氏（認定音楽療法士）

④地域リハに関わる今後の課題や展望

地域の音楽療法士は現在、小児から高齢者まで多くの分野で活動しております。しかし、未だ音楽療法への正しい理解や認知度に於いて多くの課題があります。音楽療法の普及・啓発・啓蒙のために、専門職の皆さまと連携させていただきながら、地域に貢献していきたいと思っております。

（事務局 大分市大在浜1-12-27（有）塚原楽器サービス内 TEL/FAX 0972-24-1109）

NPO 法人 大分県介護支援専門員協会

会長 工藤 修一



I. 協会の現状

大分県介護支援専門員協会は「介護保険制度が利用者主体の制度として確立されるよう、専門的知識及び技能を研鑽し、介護支援専門員の資質及び社会的地位の向上に努めることにより、公正・中立なケアマネジメントの実現を目指し、県民の健康と福祉の向上に寄与すること」を目的としております。

任意団体として平成12年10月に発足し、その後特定非営利活動法人として認証を受け、また、平成18年には日本介護支援専門員協会の大分県支部としても位置づけられました。

平成28年2月現在、384名の会員が在籍し、県下11支部協議会が組織化され「介護支援専門員」の専門的知識及び技能の研鑽のための「研修」等の実施団体としての活動を行っております。

※本県において介護支援専門員関連の研修をもっとも多く開催しているのは大分県協会です。

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

- ・地域包括ケア推進プロジェクト会議への参画
- ・地域ケア会議
- ・大分地域リハビリテーション・ケア研究大会への参加
- ・大分災害リハビリテーション推進協議会への参加
- ・日本介護支援専門員協会と熊本地震被災地への視察・支援

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

課題

- ・地域における他職種連携、介護保険の理念である「自立支援の考え方」が十分共有されていない
- ・利用者像や課題に応じた適切なアセスメントが必ずしも十分でない
- ・地域における実践的な場での学び、有効なスーパーバイズ機能など、介護支援専門員の能力向上の支援が必ずしも十分でない
- ・施設介護支援専門員が地域リハ活動への関与

今後の展開

- ・地域における在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策を検討する会議への参加
- ・地域包括ケアにおけるケアマネジメント能力の向上に資するための研修の開催
- ・地域における認知症、在宅療養との連携・看取り、生活支援サービスも含めたマネジメント（自助・共助・公助）、地域課題を解決するアイデアの実現に向けた研修
- ・大分県リハビリテーション支援センターをはじめとする関係機関・関係団体との連携を図る

一般社団法人 大分県介護福祉士会

会長 三浦晃史



I. 協会の現状

会員数：1335名

日出・大分・由布・佐伯・臼杵・豊後大野・日田・宇佐の8支部

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

1. 研修会の開催

平成27年 4月10日(日)「論文の書き方講座」～学会等の発表に使用する「論文」について
正確で正しい記載・表現ができるようになる～

平成27年 6月21日(日)「専門性追求研修 気づいてますか?(口腔・歯科編)」

平成27年 10月11日(日)「人にやさしい食事支援 ～高齢者及び障害者の食事援助～」

平成27年 11月29日(日) 障がい者支援のための研修会

平成28年 3月19日(日)「正しい排泄ケアの理解」～排泄ケアを一緒に考えましょう～

2. 一般に向けた介護教室

1) 出前講座

- ・大分県立大分南高等学校
- ・(学)岩尾昭和学園 昭和学園高等学校
- ・大分県立佐伯豊南高等学校
- ・大分市
- ・杵築市

2) 研修センター事業福祉の心醸成事業への講師派遣 (出席講師人数 49名・22回)

3) ボランティア連絡協議会

6回の講座に各2名ずつ計12名派遣

4) 福祉・人材確保対策研修会の実施

3. 潜在的有資格者の参入の促進等

再就職応援セミナー

平成27年 11月15日(日) 大分開催 7名

※同研修開催にあたり効果的手段と考え県下14市に市報への
研修会開催の掲載を依頼し可否を問うた。

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

○介護現場での課題は、すでに社会問題化している「人材の確保」である。潜在化している介護福祉士の掘り起こしは上記取り組みの研修会、参加人数からも今後多くを望めない、職場の辞めない職場づくりに尽力頂きながら、会としては中長期的視点でこれからの日本を背負う世代への働きかけに主眼を置くことになりそうである。

○介護福祉士の社会的認知度を向上させる手段として、県のサポートであったり、マスコミの協力などを募りこれからの社会における介護の必要性を訴えていく必要を感じる。

公益社団法人 大分県看護協会

会長 竹中 愛子



I. 大分県看護協会の現状

- 1 会員数は 9,370 名。(平成 28 年 3 月末現在)
- 2 看護職の資質向上のための教育・研修、看護職が働き続けられる環境づくり、ニーズに応える看護領域の開発・展開など 8 つの事業を行うことにより、時代の変化と人々のニーズにあった安全で質の高い看護の提供をめざし、地域社会に貢献している。
- 3 事業は、常任委員会 (10)・職能委員会 (4) の 14 委員会および県下を下記 11 の地域に分けた地区活動により展開している。
①国東 ②別府・杵築・日出 ③大分中央 ④大分東部 ⑤大分西部⑥臼杵・津久見 ⑦由布
⑧豊後大野・竹田 ⑨中津・宇佐・豊後高田⑩佐伯 ⑪日田・玖珠・九重地区での活動
* 地区活動：施設代表者会議等看護の連携推進事業、地区研修事業 (DVD の教材を提供)、看護の日事業等の地区活動事業を実施。

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

< 教育・研修事業 >

協会内で行う主な事業として、看護職の資質向上のための研修事業があり、平成 27 年度は、年間 168 研修・延 392 日実施し、受講者数は延 19,098 人。

1) リハビリテーション関連研修の実施状況

主なりハビリ関連研修

於) 大分県看護研修会館

	研 修 名	①開催日・人数	②開催日・人数
1	摂食・嚥下障害患者の看護	10/31 59	1/19 38
2	もっと高次脳機能障がいを理解しよう	10/20 32	
3	高齢者の看護：転倒転落予防	12/1 55	
4	ナーシングバイオメカニクスに基づく生活支援技術セミナー	1/18.19 32	
5	ベッドサイドが面白い～視よう・知ろう・看護の力～	1/18 45	
6	在宅看護：慢性呼吸不全患者の看護	10/10 35	
7	在宅看護：小児訪問リハビリテーション	10/15 16	
8	在宅看護：脳卒中患者の再発予防とリハビリテーション	1/23 13	
9	在宅看護：誤嚥性肺炎を予防する摂食嚥下・口腔ケア	9/2 68	3/5 30
10	准看護師研修：高齢者の自立支援	11/5 34	
11	診療所・介護施設研修：身体機能維持のためのリハビリテーション	8/2 31	8/5 43
12	診療所看護師研修：摂食・嚥下ケア	9/24 47	

< 県民の健康づくりの活動 >

1 げんき教室

毎月第 4 水曜日 14:00 ～ 15:30 計 12 回

会場：大分県看護研修会館

対象：高齢者等 (一般)

参加者：延 974 人

2 「まちの保健室」開催

各会場で血圧・体脂肪測定・血管年齢測定・骨密度測定・健康相談等を実施

- ①大分市生活文化展 於) 城址公園 5日間(10/3.4.10.11.12) 来場者 延 1,539人
- ②「人とみどりふれあいいち」
於) 平和市民公園 4日間(3/26・4/6・14・24) 来場者 延 234人
- ③大分県立図書館 2日間(5/17・11/8) 来場者 延 213人
- ④「げんきフェア」於) 大分県社会福祉介護研修センター 1日(11/1) 来場者 176人
- ⑤ふれあいフェスタ 於) 大分県身体障害者福祉センター 1日(11/15) 来場者 108人

3 「平成27年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)

テーマ「このまちで暮らし、このまちで死ぬ」

- 日 時：平成27年5月10日(日) 13:15～16:30 参加者 186人
- ・「ふれあい看護体験」 90施設・参加者 522人

<会議等>

1 大分県地域リハビリテーション研究会

- ・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会 平成27年11月3日(火)
病院等の看護職および看護協会から1名参加
- ・運営部会に担当者6回出席

2 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

平成27年7月26日(日) 病院等の看護職および看護協会から1名参加

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成28年度 地域リハ関連の活動・取り組み

<教育・研修事業>

1) リハビリテーション関連研修

- ①リハビリ関連研修を継続し、看護職の資質向上を図る 13研修実施予定
- ②在宅での療養者のための訪問看護等に関する事業を強化

県民が最期まで安心して在宅療養が送れるようにリハビリを含む質の高い訪問看護サービス、地域包括ケアが実施できるよう取り組む。教育機関として、学生の訪問看護実習を受け入れ。

<県民の健康づくりの活動>

- 1) げんき教室 12回開催
- 2) 「まちの保健室」開催 5種類のまちの保健室開催予定(平成27年度の①～⑤と同様)
- 3) 「平成28年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)

日時：平成28年5月14日(土) 13:00～16:30

<会議等>

1) 大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議

2) 大分県地域リハビリテーション研究会

- ・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会
- ・役員会、運営部会

3) 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

公益社団法人 大分県言語聴覚士協会

会長 佐藤俊彦



I. 協会の現状

1) 会員数及び施設数（平成28年3月31日現在）

会員数 : 304名 ※約7割が大分、別府に集中している
施設数 : 98施設

2) 構成 : 事務局（総務部、財務部、災害対策部）

社会局（生涯学習部、広報部、福利厚生部）

事業局（医療保険部、介護保険部、障害保健福祉部、地域活動推進部）

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

1) 言語障害友の会「なし会」関連

① 第14回なし会総会

日時：平成27年5月9日（土） 10:30～12:00

場所：iichiko 総合文化センター 中会議室（大分市高砂町）

内容：なし会総会、交流会等

参加者：なし会会員・家族16名、県士会会員12名、計28名

② なし会忘年会

日時：平成27年11月29日（日） 11:00～14:00

場所：小松軒（日田市隅1-1-25）

内容：レクリエーション・交流会・食事会・カラオケ等

参加者：なし会会員・家族18名、県士会会員10名、計28名

③ 各ブロック会への参加

日時：1～2ヶ月に一回程度（各ブロック会にて決定）

場所：各ブロック会にて決定

内容：交流会、食事会、情報交換会等

④ 啓蒙活動

ア) 映画「言葉のきずな」上映会

日時：平成27年5月9日（土） 14:00～16:30

場所：iichiko 総合文化センター 音の泉ホール（大分市高砂町）

内容：地域のケアマネージャーや医療・介護職、一般の方を対象に失語症の啓発

参加者：一般65名、なし会会員・家族17名、県士会会員38名 計120名

イ) パンフレットの増刷及び配布

⑤ なし会ホームページの運営

内容：各ブロックで随時更新

2) げんきフェアへの参加

第16回げんきフェア

日時：平成27年11月1日（日）

場所：大分県社会福祉介護研修センター

内容：パネル展示、言葉と飲み込みの相談コーナーの設置等

3) 大分県地域リハビリテーション関連

① 第12回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

日時：平成27年7月26日 10:30～16:00

場所：ホルトホール 大会議場

参加者：220名（講師、スタッフ含む）

② 第6回 地域リハ研究会 ケア研究大会 10:00～15:30

日時：平成27年11月3日

場所：ビーコンプラザ3階 国際会議室

参加者：97名（うちスタッフ25名）

4) おおいた食のリハビリテーション研究会

(社)大分県栄養士会、(一社)大分県歯科衛生士会、(一社)大分県介護福祉士会、

(一社)大分県言語聴覚士協会

① 第17回研修会合同開催

5) 5歳児発達相談会への派遣

- ・中津市 ～ 派遣回数 4回
- ・杵築市 ～ 派遣回数 8回
- ・日田市 ～ 派遣回数 3回
- ・由布市 ～ 派遣回数 4回
- ・豊後高田市 ～ 派遣回数 4回

(ことばの相談会への派遣)

- ・由布市 ～ 派遣回数 2回

(巡回相談への派遣)

- ・由布市 ～ 派遣回数 2回

6) 他団体への講師派遣

- | | | | |
|------------------|---|------|----|
| ・大分県東部保健所国東保健部 | ～ | 派遣回数 | 1回 |
| ・大分県社会福祉介護研修センター | ～ | 派遣回数 | 1回 |
| ・大分市教育委員会 | ～ | 派遣回数 | 1回 |
| ・国東市 | ～ | 派遣回数 | 2回 |
| ・豊後高田市 | ～ | 派遣回数 | 1回 |
| ・由布市 | ～ | 派遣回数 | 2回 |
| ・大分県老人保健施設協会 | ～ | 派遣回数 | 1回 |
| ・大分県介護福祉士会 | ～ | 派遣回数 | 1回 |
| ・大分県ホームヘルパー協議会 | ～ | 派遣回数 | 2回 |
| ・(財)介護労働安定センター | ～ | 派遣回数 | 2回 |
| ・玖珠・ここのえのヘルパー会 | ～ | 派遣回数 | 1回 |
| ・社会医療法人婦巖会みえ病院 | ～ | 派遣回数 | 1回 |
| ・特別養護老人ホーム喜楽苑 | ～ | 派遣回数 | 1回 |

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアシステムが推進される中で、専門職能団体として、自助・互助に対してのプロボノ活動の充実が必要と考えます。自助に対してのプロボノ活動とは、疾病や暮らし方などの理解を深める支援、運動や生活が自己管理できるための支援、自立のための生活環境の工夫などに関わる支援が挙げられ、我々ができる支援としては、主にコミュニケーションや食にまつわる支援が考えられます。互助に関してのプロボノ活動は、コミュニケーション・食を中心に、ボランティア活動の啓発・受け入れ、住民による支え合いが可能となる活動の育成、高齢者・障害のある人が交流できる場の提供、自助グループの支援など多岐にわたります。

今後も、大分県の地域リハビリテーションが充実するよう専門職脳団体として、研鑽したいと考えます。

公益社団法人 大分県作業療法協会

会長 高森 聖人



I. 協会の現状

正会員数 819 名（うち自宅会員 45 名）／所属施設数 207 施設／6 圏域 11 支部
名誉会員 1 名，賛助会員 5 団体，有識者理事 6 名（平成 28 年 3 月 31 日現在）

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

啓発・普及事業

- 作業療法一日体験 H 27.7 ~ 8 参加者：県内高校生 197 名
- 作業療法フェスタ 2015 H 27. 8.30 (日) 参加者：約 700 名
- 作業療法ミニフェスタ
 - 日出町「城下カレイ祭り」 H 27. 5.17 (日) 来場者：約 100 名
 - 日田市「日田市市民健康福祉祭り」 H 27.10.11 (日) 来場者：42 名
 - 佐伯市「さいき交通安全フェスタ」 H 27.10.25 (日) 来場者：約 500 名
 - 豊後大野市「ふるさとまつり 2015」 H 27.11.08 (日) 来場者：約 100 名
 - 大分市「春日まつり」 H 27.11.08 (日) 来場者：約 100 名
 - 臼杵市「もみじ祭り」 H 27.11.23 (月) 来場者：約 250 名
- 「作業療法の日」リハビリテーション相談 H 27. 9.27 (日) 来場者：約 200 名
- 「リレー・フォー・ライフ 2015 in 大分」参加
H 27.10.10 (土) ~ 11 (日) 参加者：85 名（会員 40 名，作業療法学生 45 名）
- 「大分県社会福祉介護研修センターまつり & げんきフェア 2015」作業療法コーナー設置
H 27.11.01 (日) 来場者：約 200 名
- 「大分大学開放イベント 2015」作業療法コーナー設置
H 27.11.01 (日) 参加者：92 名
- ジョブカフェおおいだ 職業人講話（別府翔青高校）
H 27.11.12 (木) 参加者：29 名

研修会等

- 第 19 回大分県作業療法学会 H 28.1.24 (日) 参加者：158 名
テーマ『地域の「力」～地域で必要とされる作業療法士になるために～』
- 第 33 回全体研修会 H 27. 8.23 (日) 参加者：66 名
テーマ「認知症初期支援チームと作業療法士の具体的取り組みについて」
- 地域ケア会議助言者育成研修 H 27. 6.21 (日) 参加者：19 名
- 地域ケア会議新規助言者研修会 H 28. 3.11 (金) 参加者：10 名
- 制度対策研修会 H 27.12.20 (日) 参加者：30 名
- 生活行為向上マネジメント研修会
 - ① リーダー研修 H 27.6.6 (土) 7 (日) 21 名
 - ② 基礎研修 H 27.7.12 (日) 135 名 | H 27.10.18 (日) 54 名
 - ③ 追加研修 H 27.6.26 (金) 15 名 | H 27.9.17 (木) 37 名 | H 28.3.4 (金) 7 名
 - ④ 事例検討会 H 27.10.2 (金) 14 名 | H 27.12.3 (木) 14 名 | H 28.2.4 (木) 23 名
 - ⑤ 実務者研修会 H 28.2.19 (金) 29 名
- 大分県地域包括支援センターリハ職等配置支援事業にかかる人材育成研修
 - 地域包括ケアシステムにおける人材養成研修（全 3 回）
H 27.8.16 (日) 51 名 | H 27.11.1 (日) 53 名 | H 28.2.21 (日) 53 名
 - 地域ケア会議助言者スキルアップ研修（全 4 回）
H 27.9.25 (日) 58 名 | H 27.12.18 (金) 50 名 | H 28.1.29 (金) 51 名 | H 28.3.25 (金) 41 名

- 介護予防・日常生活支援総合事業に関する研修（全3回）
H 27.7.24（金）61名 | H 27.10.29（木）8名 | H 27.11.27（金）50名
- 大分県理学療法士協会・作業療法協会・言語聴覚士協会合同研究会研修会
（医療介護従事者養成・在宅医療体制構築事業）
H 28.2.14（日）参加者：114名（うち当協会会員31名）
- 第10回九州作業療法士会長会主催合同研修会（熊本市）
H 28.1.30・31（土・日）参加者：94名（うち当協会会員8名）
- 九州理学療法士・作業療法士合同学会 2015 in 大分
テーマ『LIFE－未来を切り拓く「力」－』
H 27.11.14（土）・15（日）参加者：約1,400名

人材派遣等

- 市町村の地域ケア会議等への助言者及び広域支援員の推薦・派遣
 - 大分県地域ケア会議多職種派遣事業に係る助言者の推薦・派遣
派遣先：17市町／派遣者：延べ62名（登録者55名）／派遣回数：265回
 - 大分県地域ケア会議広域支援員派遣事業に係る広域支援員の推薦・派遣
推薦者：リーディングコーディネーター3名，リーディングアドバイザー5名
派遣先：6市町／派遣者：3名／派遣回数：10回
- 市町村等の介護認定審査会委員の推薦 推薦先：5市／推薦者：17名
- 市町村等の障害支援区分認定審査会委員の推薦 推薦先：1市／推薦者：01名
- 乳幼児障がい早期ケア事業への人材派遣 派遣先：1市／派遣回数：4回
- 各種研修会等への講師等派遣
 - 大分県内 派遣先：18事業／派遣回数：49回
 - 大分県外 派遣先：05事業／派遣回数：08回

その他

- 広報誌「伝DEN」の発行 H 27.8, H 27.12 / 各2,300部
- 関連諸団体との連携
 - 関連諸団体の理事，監事，委員，世話人等
 - 委員会・会議等への出席
 - 事業企画・運営への協力等

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成27年度は、法定化に伴い県下全市町村において地域ケア会議が本格的に実施され、また10市における新たな「介護予防・日常生活支援総合事業」への移行、地域包括支援センターリハ職等配置支援事業等が実施され、地域包括ケアシステム構築に向けた県内の取り組みがさらに前進し、これらの取り組みが国や自治体、他県の職能団体からも大いに注目されたところである。

当協会は、こうした地域や行政機関等からの社会的要請に応えるべく、地域ケア会議を始めとする様々な事業等に多くの会員を派遣するとともに、さらなる人材の確保と資質向上のため各種研修会を実施した。日本作業療法士協会が推進している「生活行為向上マネジメント（MTDLP）」に関する研修会等を全10回実施したほか、大分県からの委託による「大分県地域包括支援センターリハ職等配置支援事業にかかる人材育成研修」を全9回実施し、例年になく研修会開催回数となったが、会員の意識も徐々に高まってきており、積極的な参加姿勢を確認することができた。

啓発普及事業については、高校生を対象とした「作業療法一日体験」の参加者が過去最高の197名を数え、また一般県民を対象とした「作業療法フェスタ」を始めとする各種事業では、第2期長期活動計画に基づいた広域的展開により、多くの県民に対し作業療法と地域リハビリテーションを広報することができた。

一方で、県内外の各種研修会等への講師派遣等が急増しており、多種多様の依頼に対応できる新たな人材の確保・育成と、主催事業を含めた様々な事業を効率的に行う組織運営のあり方が課題となっている。今後は、地域特性に応じた活動の促進と、それらに対応できる機能的組織構築に向けて取り組んでいきたい。

社団法人 大分県歯科医師会

会長 長尾 博 通



1. 会の現状

会員数：627名（平成28年5月現在）

地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療、医療連携の関連分野を担当している。

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

*高齢者のよい歯のコンクール

口腔の衛生管理に努力し、80歳で20本以上自分の歯を保持している健康な方を表彰することで、口腔の健康の重要性を県民にアピールしている。昨年度は優秀賞5名、優良賞10名を選出し表彰した。

*老人保健施設訪問歯科保健事業

老人保健施設・福祉施設を大分県歯科衛生士会と大分県歯科技工士会と共に訪問する。口腔内検診、歯科保健指導や口腔ケア、義歯のネーム入れ、また施設職員を交え入所者の口腔衛生管理の問題点を話し合う。27年度は、別府市の「特別養護老人ホーム石垣一燈園」を訪問した。

*介護保険対応歯科保健研修会の開催

介護の中での歯科保健を視野に入れた講演会を開催している。27年度の研修会は、東京大学高齢社会総合研究機構、飯島勝矢先生をお招きし、「オーラルフレイルから見直すフレイル予防」という演題でご講演いただいた。

*障がい者歯科保健研修会の開催

口腔ケアの知識の習得や障がい者歯科医療のネットワークづくりを目的として開催している。27年度の研修会は、大分県佐伯市戸高歯科医院院長、戸高勝之先生をお招きし、「障がい児の前にいま開業医ができること・治療から予防への意識改革」という演題でご講演いただいた。

*障がい児者口腔状況把握事業

県委託事業として、30施設を訪問し、565名の健診を行った。

*障がい者歯科高次医療機関拡充調査委託事業

他県の障がい者歯科医療の情報を収集し、本県の状況と比較調査した。調査資料報告書をもとに、協議会を開催し、今後の障がい者歯科医療提供体制について検討した。

*各種委員会、協議会、研修会への参加

- ・大分県リハビリテーション協議会
- ・大分県リハビリテーション研究会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・豊の国8020運動推進協議会
- ・障がい者歯科高次医療機関拡充調査委託事業協議会 等

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

障がい者歯科高次医療機関拡充調査結果報告書をもとに、高次医療機関の拡充や障がい者歯科医療提供体制を行政と連携する。

認知症施策にともない歯科医師対象の認知症対応力向上研修会が始まる。会員に研修会の参加を促し、認知症患者の食支援や多職種連携の強化を図る。

一般社団法人 大分県歯科衛生士会

会長 有松ひとみ



I. 協会の現状 会員数 236名(平成28年3月31日現在)

3支部 県南地区(佐伯・津久見・臼杵) 豊肥地区(竹田・豊後大野) 日田地区

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

II-1 主催研修会

リフレッシュ・地域歯科保健 研修会

- 平成27年6月21日(日) 9:30～13:00 植田市民行政センター 受講人数;51名
テーマ: 幼児歯科健診でのフッ化物の局所応用と指導内容の統一化・アロマでほっと介護

摂食・嚥下機能療法の基本技術 研修会

- 平成27年5月17日(日) 10:00～13:00 大分赤十字病院 受講人数;52名
テーマ; 地域包括における食支援～摂食嚥下の基本と関連知識～
- 平成27年9月27日(日) 9:30～12:40 ホルトホール大分 受講人数;59名
テーマ; 摂食・嚥下のアプローチに必要な始めの一步

障がい者研修会

- 平成27年1月31日(日) 10:00～12:00 ホルトホール大分 受講人数;31名
テーマ; 障がい児(者)における口腔管理～歯周病とカリエス予防～

歯周病研修会

- 平成27年8月23日(日) 10:00～15:00 大分赤十字病院 受講人数;34名
テーマ; 歯科衛生士の視点からの米国最新情報-シャープニングの実践を踏まえて-
- 平成28年2月28日(日) 10:00～13:00 アイネス【県委託事業】 受講人数;79名
テーマ; 歯周病治療で健康寿命を延伸する

地域包括支援センターリハ職等配置支援事業に係る人材育成研修会(大分県委託事業)

- 第1回 平成27年8月22日(土) 18:00～20:00 ホルトホール大分 受講人数;74名
テーマ; 米国最新情報 歯科衛生士って So Cool!
- 第2回 平成27年11月23日(月) 10:00～13:00 ホルトホール大分 受講人数;115名
テーマ; 多職種で支える摂食・嚥下マネジメント-呼吸・栄養・服薬との関連性-
- 第3回 平成27年12月12日(土) 14:00～16:30 ホルトホール大分 受講人数;58名
テーマ; 口腔・栄養ケアで高齢者を護ろう! 認知症、サルコペニアを見据えて
- 第4回 平成28年1月10日(日) 13:00～16:00 ビーコンプラザ 受講人数;193名
テーマ; 歯と口の時代の到来!!～口腔のケアそして人間復活～
- 第5回 平成28年2月7日(日) 14:00～16:00 アイネス 受講人数;34名
テーマ; 「口腔粘膜の見方とその対応法」

地域ケア会議 アドバイザー育成と現行者の助言向上プログラム6回シリーズ

- 第1回 平成27年7月19日(日) 10:00～12:00 受講人数;37名
テーマ; 介護保険制度のしくみと大分県の未来を語る～助言者に求めるもの～
- 第2回 平成27年8月8日(土) 17:30～19:30 受講人数;34名
テーマ; 地域包括支援センターの機能と展望～地域における歯科衛生士の役割～

- 第3回 平成27年9月12日(土) 17:30～19:30 受講人数; 28名
テーマ; 地域ケア会議の助言者にもとめるもの～理学療法士の視点から～
- 第4回 平成27年10月17日(土) 18:00～20:00 受講人数; 28名
テーマ; 地域ケア会議の助言者にもとめるもの～管理栄養士の視点から～
- 第5回 平成27年11月14日(土) 17:30～19:30 受講人数; 22名
テーマ; 地域ケア会議の助言者にもとめるもの～訪問看護師の視点から～
テーマ; 地域ケア会議の助言者にもとめるもの～薬剤師の視点から～
- 第6回 平成27年12月12日(土) 17:30～19:30 受講人数; 26名
テーマ; 地域ケア会議の助言者に求めるもの～作業療法士の視点から～

大分県歯科衛生フォーラム

- 日時; 平成28年 1月 10日(日) 9:45～12:10
会場; 別府ビーコンプラザ 国際会議室 受講人数; 193名
テーマ; 「歯科衛生士の明日を拓く」基調講演; 口演発表者5名; ポスター発表者3名

言語聴覚士との合同研修会

- 日時; 平成 28年2月7日(日) 10:30～12:30 県立美術館OPAM 受講人数; 57名
テーマ; ご存知ですか? お口と脳の意外な関係!!

リカバリーセミナー(大分県歯科医師会共催)

- 日時; 平成 28年2月21日(日) 9:30～12:40 大分県歯科医師会 受講人数; 22名
テーマ; 「歯科臨床における感染対策・医療安全」「患者指導」「再就職歯科衛生士体験談」

II-2 後援・協力研修会【抜粋】

- ①第12回大分県地域リハビリテーション研究会、県リハ支援センター合同研修会
- ②第17回18回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会
- ③第16回元気フェア大分県保健医療団体協議会; 平成27年11月1日(日)
- ④第6回大分地域リハビリテーション・ケア研究会研修会
・平成27年11月3日(日)「医療・介護・福祉、共に考えるまちづくり」

II-3 講師派遣【抜粋】

- ①地域包括ケアシステム推進事業 ②大分圏域介護予防事業及び口腔機能向上事業
- ③障がい児(者)施設含む県内市町村の母子事業及び地域支援事業 ④その他

II-4 会議出席【抜粋】

- ①地域リハビリテーション関係 ②行政関係(県及び市町村) ③その他

II-5 大分県歯科医師会(協力) 高齢者・障がい者訪問事業

- ・平成27年6月7日(日) 歯と口の健康週間(大分市2会場) 来場者554名
- ・平成27年8月22日(土) 特別養護老人ホーム一燈園(別府市) 対象者40名

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

全国に先駆けて実施している大分県地域ケア会議において、助言者として参加し5年目を迎え、生活支援や介護予防として、歯や口腔の管理や機能維持向上の必要性が浸透しつつあると感じています。誕生前から生を終えるまでの全てのライフステージに合わせた予防に関わる職種として、暮らしを見据えた広角的視点とスキルが重要となってきます。日本歯科衛生士会も大分モデルを全国的に普及するように動き出したことを踏まえて、他県に向けた情報提供や人材育成のためのシステム化が課題と考えております。

大分県視能訓練士会

会長 安田 昌子



I. 協会の現状

会員数 116 名（平成 28 年 5 月 1 日現在）

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

〈他団体との共催・後援事業〉

- ・第 12 回 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会 合同研修会
日 時:平成 27 年 7 月 26 日（日）10:30～16:10
場 所:ホルトホール大会議場
テーマ:地域包括ケアシステムについて
スタッフにて参加
- ・第 6 回 大分地域リハビリテーション・ケア研究大会
日 時:平成 27 年 11 月 3 日（火）10:00～15:30
場 所:別府ビーコンプラザ 3 階 国際会議室
テーマ:医療・介護・福祉, 共に考えるまちづくり
スタッフにて参加
- ・センターまつり&げんきフェア 2015
日 時:平成 27 年 11 月 1 日（日）10:00～14:30
場 所:大分県社会福祉介護研修センター
内 容:眼の病気の見え方体験ブース設置（ブース来場者 約 100 名）
職業紹介のパネル展示

〈主催の研修会〉

- ・第 5 回 勉強会
日 時:平成 27 年 11 月 29 日（日）10:00～12:00
場 所:大分視能訓練士専門学校
内 容:(1) 講演「糖尿病網膜症治療の現状」
講師 木許賢一先生（大分大学医学部眼科 准教授）
(2) 技術研修
3 歳児健康診査のための演習（手持ち式オートレフラクトメータ）
参加者:62 名

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

27 年度より地域リハ活動に参加させていただくことになりました。発足したばかりの会で、何かとご迷惑をおかけいたしました。皆様にお力添えいただき無事に 1 年を終えることができました。誠にありがとうございました。

私たちの力不足ゆえに、視能訓練士は未だ知名度が低い状態です。しかしながら、27 年度より別府市の、28 年度より大分市の 3 歳児健康診査に、視能訓練士が参加させていただけることとなりました。まだまだ未熟な会ではございますが、これからも知識や技術の研鑽を怠らず、少しずつでも地域に貢献できるような活動ができるよう努力してまいります。

大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

会長 深見 憲一

1 協議会の運営

(1) 総会

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 平成27年4月28日(火) 13:30~14:35 |
| 議 案 | 1) 平成26年度事業報告(案)並びに収支決算(案)について
<監査報告>
2) 平成26年度ブロック別活動報告並びに決算報告について
3) 平成27年度事業計画(案)並びに予算(案)について
4) 行政説明 |

(2) 事業監査

- | | |
|-----|----------------------|
| 日 時 | 平成27年4月20日(月) 10:00~ |
| 内 容 | 平成26年度事業報告並びに決算について |

(3) 理事会

- | | | |
|-----|-------------------|---|
| 第1回 | 日 時 | 平成27年6月12日(金) 11:00~12:10 |
| | 議 題 | 1) 今年度の運営方針等について
2) 九州ブロックセミナーについて |
| 第2回 | 日 時 | 平成27年10月15日(木) 15:40~16:30 |
| | 議 題 | 平成28年度九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナーについて |
| 第3回 | (第2回 幹事会と合同開催) | |
| | 日 時 | 平成28年1月21日(木) 10:00~11:30 |
| | 議 題 | 平成28年度九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナーについて |
| 第4回 | (前半 第3回 幹事会と合同開催) | |
| | 日 時 | 平成28年3月16日(水) 13:30~14:15 |
| | 議 題 | 1) 平成28年度九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナーについて
2) 平成27年度事業進捗状況並びに決算見込(案)について
3) 平成28年度事業計画(案)並びに予算(案)について
4) 役員改選方法について
5) 平成28年度総会の開催について |

(4) 幹事会

- | | | |
|-----|---------------|---|
| 第1回 | 日 時 | 平成27年6月12日(金) 13:30~15:30 |
| | 内 容 | 1) 平成27年度研修・調査研究計画について
2) 九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナーについて |
| 第2回 | (第3回理事会と合同開催) | |
| | 日 時 | 平成28年1月21日(木) 10:00~11:30 |
| | 議 題 | 平成28年度九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナーについて |
| 第3回 | (第4回理事会と合同開催) | |

日 時 平成28年3月16日(水) 13:30~14:15
議 題 平成28年度九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナーについて

2 研修会等の開催

大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター研修会

日 時 平成27年10月15日(木) 13:30~15:30

内 容 シンポジウム「総合事業から見える地域包括支援センターの将来像」

3 組織強化、制度・政策に関する取り組み

- (1) 組織強化に関する取り組み
- (2) 制度・政策に関する取り組み

4 情報提供

他機関が実施する各種研修会への参加案内

5 関係機関・団体との連携

- (1) 県内関係機関・団体との連携
- (2) 県との協調・支援
- (3) 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

6 全国及び九州各種会議・研修会への参加

(1) 九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会役員会

第1回 期 日 平成27年 5月27日(水)

第2回 期 日 平成27年11月26日(木)

第3回 期 日 平成28年 3月 3日(木)

(2) 九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナー

日 時 平成27年11月26日(木)~27日(金)

内 容 基調報告:「地域包括・在宅介護支援センターの役割と課題」

行政説明:「地域包括ケアシステムの構築に向けて~介護保険制度改正の概要」

シンポジウム:「在宅生活を支えるための地域包括支援センターの役割」

講演Ⅰ:「今こそ求められる地域包括ケアシステム」

講演Ⅱ:「地域資源を活かした高齢者支援訪問事業~まちづくり活動~」

(3) 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会委員総会

第1回 期 日 平成27年 5月13日(水)

第2回 期 日 平成28年 3月 9日(水)

(4) 平成27年度全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会

期 日 平成27年10月21日(水)~22日(木)

(5) 全国地域包括・在宅介護支援センター職員研修会

期 日 平成28年 2月 3日(金)

大分県地域リハビリテーション研究会

会長 武居光雄



I. 協会の現状

- 会 長：武居光雄
- 副 会 長：三浦晃史、有松ひとみ
- 幹 事：各団体より代表者1名
- 監 事：長岡博志、陶山直昭
- 顧 問：根橋良雄、原田禎二、本田昇司
- 名誉顧問：有田 眞、佐竹孝之
- 所属団体：18 団体

大分県地域リハ医師懇話会	(公社)大分県理学療法士協会	(公社)大分県作業療法協会
(公社)大分県言語聴覚士協会	(公社)大分県看護協会	(公社)大分県薬剤師会
(公社)大分県栄養士会	(公社)大分県放射線技師会	(公社)大分県臨床工学技士会
(公社)大分県臨床検査技師会	(一社)大分県歯科医師会	(一社)大分県歯科衛生士会
(一社)大分県介護福祉士会	(一社)大分県医療ソーシャルワーカー協会	大分県臨床心理士会
大分県介護支援専門員協会	NPO 大分音楽療法研究会	大分県視能訓練士協会

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

① 第12回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日 時：平成27年7月26日(日)

会 場：ホルトホール大分 大会議場

参加者：220名

シンポジウム テーマ：『介護予防・日常生活支援総合事業への取り組み』

シンポジスト①：杵築市役所健康長寿あんしん課 主任歯科衛生士 青木利美氏

シンポジスト②：杵築市介護予防サポーターねこの手 会長 大成美登里氏

シンポジスト③：白杵市老人クラブ会長、白杵市北海添地区 区長 松下義博氏

シンポジスト④：白杵市地域包括支援センター 管理者 石井義恭氏

司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 事務次長 平岡 賢

(公社)大分県栄養士会 濱田美紀

② 第6回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会の開催

日 時：平成27年11月3日(火)

会 場：別府ビーコンプラザ 国際会議室

参加者：97名

テーマ：『医療・介護・福祉、共に考えるまちづくり』

- 基調講演①「医療・介護・福祉をつなぐシームレスな安全管理」

～地域連携における安全管理を一緒に考えましょう。

患者参加型の事故防止について一緒に考えましょう。

そして、医療事故調査制度の最新情報をご紹介します～

講 師：九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授 鮎澤純子氏
司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄

- 特別演題①「脊髄損傷患者の様々な問題点に関する
日本リハビリテーション病院・施設協会のアンケート調査分析」
演 者：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄
- 特別講演②「2筋同時電気刺激装置による慢性期脳卒中上肢麻痺の改善効果」
演 者：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部長 井野辺純一
- 一般演題：口述発表 12 演題

③ 名義後援

第 33 回大分県病院学会 (平成 27 年 11 月 8 日)
九州理学療法士・作業療法士合同学会 2015(平成 27 年 11 月 14～15 日)

④ 広報誌の発行

第 22 号：印刷部数 500 部 (平成 28 年 3 月 31 日発行)

⑤ 運営部会の開催

第 1 回：平成 27 年 4 月 27 日 (月)
第 2 回：平成 27 年 5 月 18 日 (月)
第 3 回：平成 27 年 6 月 29 日 (月)
第 4 回：平成 27 年 9 月 28 日 (月)
第 5 回：平成 27 年 10 月 30 日 (金)
第 6 回：平成 28 年 2 月 24 日 (水)

⑥ 役員会の開催

第 25 回：平成 27 年 5 月 18 日 (月)
第 26 回：平成 28 年 3 月 18 日 (月)

⑦ 懇親会の開催

日 時：平成 28 年 3 月 18 日 (金)
場 所：ホルトホール大分 3 階 カフェレストラン「Horuto Garden」

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成 27 年度、新たに大分県視能訓練士会が当研究会へ加盟して頂き、加盟職能団体も 18 団体となりました。また、平成 28 年度は当研究会設立 15 周年という、節目を迎える年となりました。今後も、医療・保健・福祉のみならず、教育や就労といったリハビリテーションに携わる他分野の関係団体とも連携を図り、高齢者や障害者(児)を問わず、住み慣れた地域で主体性を持ってその人らしく生活できるような社会が実現できるよう、邁進していきたいと思います。

一般社団法人 大分県病院協会

会長 川 眞 人



I. 協会の現状

1. 病院協会の現状 (H28.3.31 現在)

(1) 会員数 128 病院

(2) 構成

- ・ 会 長 川 眞 人 (川 眞 整形外科病院)
- ・ 副会長 松本文六 (天心堂へつぎ病院)
- ・ 副会長 畑 洋一 (畑 病院)
- ・ 地区毎の理事、及び所属病院数
 - 県北 (所属病院数 24) 理事 佐藤仁一、瀧上 茂
 - 別杵 (所属病院数 24) 理事 黒木健次、山本記顯
 - 大分 (所属病院数 47) 理事 武居光雄、井野邊純一、帆秋善生、秋満忠郁
 - 久大 (所属病院数 19) 理事 山本 亨、後藤憲文
 - 豊肥 (所属病院数 4) 理事 大久保健作
 - 県南 (所属病院数 10) 理事 小寺 隆、曾根 勝
- ・ 監 事 豊田貫雄、長松宜哉
- ・ 顧問 岡 宗由、参与 野口志郎

2. 活動の重点項目

- 1) 医の倫理とリスクマネジメントの高揚
- 2) 各病院の診療機能を生かした質の向上と効率化の徹底
- 3) 行き届いた患者サービスの向上と思いやりのある医療を目指す
- 4) 各病院の IT 化と IT ネットワーク情報システムの構築
- 5) 患者中心の連携システムの向上
- 6) 地域リハビリテーションの推進
- 7) 病院機能評価への挑戦と対応
- 8) 各種研修会による全病院職員の質的、能力的向上、責任をもって仕事を遂行する意欲の向上
- 9) 会員相互の親睦と信頼性、連帯感の向上
- 10) 来るべき大災害に対して十分に備える医療
- 11) 地域包括ケアシステムの構築に備える
- 12) 地域医療構想に関する取り組み
- 13) 地域医療介護総合確保基金 (医療分) に対する取り組み

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

A. 病院協会の活動報告

1. 平成 27 年度一般社団法人大分県病院協会定時社員総会
 - ・ 開催日時 平成 27 年 6 月 27 日土曜日 午後 3 時

- ・場 所 トキハ会館 5F「ローズの間」(大分市府内町 2-1-4)
- ・特別講演 参加者 107 名
- 2. 理事会 計 6 回開催
- 3. 第 33 回大分県病院学会 実行委員会 計 2 回開催
第 33 回大分県病院学会 運営委員会 計 10 回開催
- 4. 第 33 回大分県病院学会
 - ・学会テーマ 「病院の質とマネジメント力のさらなる向上を！」
— 医は不仁の術 務めて仁をなさんと欲す —
 - ・開催日時 平成 27 年 11 月 8 日 (日) 8:40 ~ 16:10
 - ・場 所 別府市山の手町 ビーコンプラザ
 - ・参加人員 (概数) 計 2,525 名
 - ・特別講演
 - ・シンポジウム 「メディカルリスクマネジメント (医療安全)」
 - ・分科会 演題総数 165 題 (口演 62 題・ポスター 103 題)
- 5. 名義後援
 - ・大分県在宅推進フォーラム
 - ・大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
 - ・第 16 回九州ブロック介護老人保健施設大会 in 大分
 - ・大分県老人保健施設大会 他
- B. 部会 (コメディカル部門) の活動報告
 1. 事務部会
 - ・研修会 計 2 回開催
 - ・委員会 計 2 回開催
 2. 看護部会
 - ・研修会 計 2 回開催
 - ・委員会 計 4 回開催
 3. 栄養部会
 - ・研修会 計 3 回開催
 - ・委員会 計 4 回開催
 4. 医療技術部会
 - ・委員会 計 1 回開催
 5. 社会福祉部会
 - ・研修会 計 2 回開催
 - ・委員会 計 9 回開催

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

2025 年問題に向けて地域包括ケアシステム構築を急がねばならない。大分県病院協会及びその会員はかかりつけ医として、また、地域の基幹病院として担う役割は大きい。病病連携、病診連携、各種施設との連携を通して高齢者、障害児、障害者が暮らしやすい社会になるように最大限の協力を惜しまない。また、災害時の医療拠点として、JMAT 及び大分 JRAT にも総力を挙げて協力する予定です。

公益社団法人 大分県放射線技師会

会長 江藤 芳浩



I. 協会の現状

会員数 341名(平成28年3月31日現在)

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

1. (公社)大分県放射線技師会第20回学術大会

平成27年9月5日(土)、大分県薬剤師会会館

テーマ「基礎から見直す肩関節～モダリティー別検査法のコツ～」

「肩関節の一般撮影について」

大分大学医学部附属病院

小石幸生

「肩関節の超音波検査～基本走査と画像の見方～」

(医)慈恵会西田病院

江藤芳浩

「MRIにおける肩関節撮像の基礎」

大分県厚生連 鶴見病院

三浦 弘

特別講演「肩関節の押さえておきたい診断ポイント」

医療法人鶴田整形外科 荻本 晋作 先生

2. (公社)大分県放射線技師会第1回臨床技術セミナー

平成27年7月3日(金)、社会医療法人三愛会 大分三愛メディカルセンター

基礎講座「デジタルマンモグラフィの基礎と撮影のポイント」

長崎みなとメディカルセンター市民病院 時田 善博

症例検討「臨床画像の検討～こんな時どうすればいいの?～」

3. (公社)大分県放射線技師会第2回臨床技術セミナー

平成27年11月6日(金)、社会医療法人敬和会 大分東部病院

基礎講座「胃X線撮影技術の基礎」

医療法人八宏会 有田胃腸病院 放射線部 武原 真一

特別講演「胃X線読影の基礎」

大分大学医学部臨床医学系 放射線医学講座 助教授 松本 俊朗 先生

4. 学術調査活動

テーマを「可搬媒体(CD-R等)による医用画像データの受け渡しに関するアンケート調査」として大分県内施設(100施設)に対して学術調査を実施した。

5. レントゲン週間イベント

第12回レントゲン週間イベントを平成27年11月8日(日)、10:00～15:00、イオン狭間ショッピングセンターにて開催し、超音波操作体験、放射線被ばく相談、栄養相談、乳がん自己検診啓発、骨密度測定、CT3D画像、パネル展示等を行った。

6. 学校訪問授業(主催)

大分県内の6校(大分市立小佐井小学校、藤華医療技術専門学校、大分市立鶴崎小学校、大分市立佐賀関小学校、大分県消防学校救急科)を訪問し、授業を行った。

<共催事業>

1. げんきフェア(共催)(大分県保健医療団体協議会主催)

- 1) 平成 27 年 11 月 1 日 (日)、大分県社会福祉介護研修センター
平成 27 年度「センターまつり&元気フェア 2015」を開催。
- 2) 平成 27 年 1 月 28 日 (木) にホルトホール大分
講演会「たくさんの出会いで学び感動したこと～これが私の生きる道～」
2. 第 12 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会
日時：平成 27 年 7 月 26 日 (日)
会場：ホルトホール大分 大会議場
内容：シンポジウム「介護予防・日常生活支援総合事業への取り組み」
3. 第 6 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会
日 時：平成 27 年 11 月 3 日 (火)
会 場：別府ビーコンプラザ 国際会議室
テーマ：『医療・介護・福祉、共に考えるまちづくり』
内 容：基調講演「医療・介護・福祉をつなぐシームレスな安全管理～地域連携における安全管理を一緒に考えましょう。患者参加型の事故防止について一緒に考えましょう。そして、医療事故調査制度の最新情報をご紹介します。～」
特別演題①「脊髄損傷患者の様々な問題点に関する
特別演題②「2 筋同時電気刺激装置による慢性期脳卒中上肢麻痺の改善効果」

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

【研究課題】

1. 体の動きの悪い患者さんに対して、患者さんの負担軽減と必要な診断情報を得るための撮影技術ならびに撮影補助具に関する研究
2. 骨密度検査の精度等についての研究
3. CT を使用した内臓脂肪測定 of 精度についての研究
4. 嚥下造影撮影の工夫、改善
5. 高次脳機能障害、整形分野に関する画像検査法の研究と読影補助
6. 整形分野、関節リウマチの MRI、CT、US 検査法の研究
7. 脳梗塞、心筋梗塞の予防に貢献するため、頸動脈 US 検査に関する研究。

【連携】

1. リハビリの機能評価と画像情報の関連について他職種と連携を行い、患者さんの治療効果につながるような検査方法を模索する。
2. 骨密度測定、内臓脂肪測定を行う立場から転倒予防教室など、医療施設での活動に積極的に参画する。
3. 広域支援センターの診療放射線技師へ活動の協力を依頼する。
4. 県民へ正しい放射線の知識の普及を図る事業を行う。
5. 患者に対する放射線検査説明、被ばく相談に対応する。
6. 読影補助による他職種への専門性を生かした情報提供を行う。
7. その他、チーム医療を担う専門職種として他職種との連携を進め、診療放射線技師としての専門的役割を果たす。

公益社団法人 大分県薬剤師会

会長 安東 哲也



I. 協会の現状

会員数 1,464名(平成28年5月1日現在)

平成27年10月厚生労働省から超高齢化社会に向けての「患者のための薬局ビジョン」が公表された。本ビジョンでは、患者本位の医薬分業の実現に向けて、服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導、24時間対応・在宅対応、医療機関との連携など、「かかりつけ薬剤師・薬局」の推進を図り、中長期的視野に立って、現在の薬局を「かかりつけ薬局」に再編する道筋を示したものである。

このようなことに鑑み、当会では、「地域ケア会議における薬剤師の参画」「健康サポート薬局制度」「多職種による在宅医療」「認知症対策向上」等の研修会を開催し、薬剤師の更なる資質向上に努めた。

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

当会では、「地域ケア会議への参画について薬剤師の立場から」、「認知症対策について～薬剤師の対応～」「健康サポート薬局制度について」等講習会を開催した。

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成27年度における、「地域ケア会議」において専門職である薬剤師の派遣依頼が日田市・国東市・杵築市・佐伯市にあった。28年度においても、新たに別府市・中津市・臼杵市・津久見市・玖珠町に派遣依頼があり、計9市での薬剤師の派遣が決定した。

このようなことに鑑み「地域ケア会議における薬剤師の責務」「在宅医療の更なる向上」「地域での多職種連携への取り組み」「かかりつけ薬剤師・薬局」等研修会を開催し、患者本位の医薬分業に努めるべく、薬剤師の更なる資質向上を図る。

公益社団法人 大分県理学療法士協会

会長 河野 礼治



地域リハビリテーションに対する公益社団法人大分県理学療法士協会の取り組み

平成 27 年度は公益事業として例年どおり介護支援・介護予防キャラバン・公開講座およびスポーツトレーナー活動等の事業に加えて、大分市をはじめ 17 市町で開催された地域ケア会議助言者および広域支援員の派遣を行いました。大分県は地域ケア会議の先進県という事もあり、地域ケア会議の助言者の実際や職能団体としての組織的取り組みに対する講師依頼も多く、日本リハビリテーション専門職協議会（日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・日本言語聴覚士協会）主催の地域ケア会議研修会の講師としての派遣をはじめ、他職種からの依頼に対応をしました。また、人材育成として大分県より地域ケア会議の助言者やサービス事業所の質的向上を目的に事業委託され、リハ専門職のスキルアップとして、リハビリテーションマニュアル作成や実務者研修会・事例検討会をおこないました。これらは、質的向上はもとより行政等に対して社会的認知向上となり公益社団法人組織の発展につながったと考えます。

I. 会の状況（H 28.3.31 時点）

[1] 会員数：1,405 人 [2] 支部構成：6 ブロック（大分, 別府速見, 県北, 県南, 久大, 豊肥）

II. 地域リハ関係の活動

[1] 地域医療, 地域保健及び社会福祉への協力に関する事業

1. 第 11 回介護予防キャラバン 全 2 回
2. 第 19 回介護支援キャラバン 全 2 回
3. 第 2 回トランスファー研修会
4. 理学療法士の活動について啓発事業（公開講座）
5. 大分県保健医療団体協議会主催「げんきフェア」・介護研修センターまつりへの協力

[2] 行政等他組織の事業への協力・支援

1. 大分県高齢者福祉課主催 サービス事業所実践力向上研修会 全 9 回
2. 国東市高齢者支援課 一般介護要望事業における「さ吉くんで元気体操普及リーダー養成講座」
3. 由布市介護予防事業（すこやか健康サロン）
4. 大分県北部保健所主催 北部圏域リハ職派遣事業所実地支援：デイサービスセンター三光，メルヘン高森
5. 大分県東部保健所国東保健部主催
「大分県生活機能向上支援マニュアルに沿った通所サービス事業所職員等に対する技術的支援」
6. 大分県ボランティア・市民活動支援センター主催
 - ①地域の助け合い活動推進セミナーと生活支援ボランティア講座
 - ②地域の助け合い活動推進交流会講話
7. 大分県シルバー人材センター連合会講習会 講師 全 5 回
8. 大分県社会福祉介護研修センター 介護職員現認者研修（基礎課程） 講師 全 7 回
9. 大分県ウエイトリフティング協会 スポーツ医科学委員会研修講座 講師
10. 大分県介護福祉士会大分支部勉強会 講師
11. 大分市教育委員会研修会 講師
12. 由布市地域包括ケア推進協議会 講師
13. 鹿児島県理学療法士協会主催 三団体合同研修会 講師
14. 原川・鶴崎地域包括支援センター 講師

15. 介護予防支援講座 講師
16. 大分県福祉保健部高齢者福祉課 第2回自立支援ヘルパー育成のための講師養成研修会 講師
17. 広島県作業療法士会主催 地域ケア個別会議研修会 講師
18. 介護認定審査会への認定委員派遣
19. 障害者介護給付費等認定審査会委員
20. 地域ケア会議専門職種派遣
21. 別府溝部学園短期大学 講師
22. 大分県社会福祉協議会 社会福祉施設経営指導事業 派遣
23. 大分県スポーツ学会スポーツ救護講習会「第6期講習会」「スポーツと運動器疾患の実技」講習会
24. 平成27年度公益財団法人大分県体育協会優秀指定選手メディカルチェックの協力 全5回
25. アジアドリームカップ2015国際車椅子バスケットボール大会 コンディショニングルーム協力
26. 大分県ホームヘルパー協議会実技研修ーリハビリテーション介護の提案ー起居・移乗の介助法ー
27. 大分県ボランティア連絡協議会：①生活支援ボランティア講座、②地域の助け合い活動推進交流会
28. 理学療法士協会・作業療法士協会・言語聴覚士協会合同研究会研修会 講師
29. 第12回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会 運営スタッフ派遣
30. 第6回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会 運営スタッフ派遣
31. 公益財団法人 介護労働安定センター ヘルスカウンセラー相談援助 全6回
32. 徳島県理学療法士会主催 地域包括ケアシステム研修会 講師
33. 愛媛県理学療法士会主催 推進リーダー全体応用研修会 講師
34. 福岡県主催 専門職向け地域ケア会議研修会 講師

[3] 理学療法の知識の普及・啓発に関する事業

1. 平成27年度理学療法週間事業の開催
2. 健康年齢チェック用タペストリーの作成
3. 広報誌「志（こころざし）Vol.6」発行
4. ニュース「あおぞら」発行及び発送

[4] 地域リハビリテーションの理解と実行に向けた事業

1. 関係会議、研修会運営等への出席派遣
 - ①大分県地域リハビリテーション研究会 運営部会出席
 - ②第12回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会 運営部員派遣
 - ③第6回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会 運営部員派遣
2. 推進リーダー導入研修（地域包括ケア：平成27年12月6日、介護予防：平成27年12月13日）
3. 地域包括ケアシステム構築に向けた人材育成委託事業研修会開催
 - ①デイサービスへの実地指導の実践報告、介護予防教室での教え方のブラッシュアップ！
 - ②認知症の方へ助言の仕方 ③ADL・IADLの評価と応用動作の実際
 - ④ヘルスプロモーションからの地域づくり
 - ⑤活動と参加につながるリハビリテーションの実践について
 - ⑥高齢者の筋トレの意義と具体的指導法 - 効果的・効率的・魅力的なアプローチ
 - ⑦デイサービスでこそ運動器疾患の動作分析を！！
 - ⑧内部障害患者を地域で支える - 必要な評価と実践 -
 - ⑨ヘルパーマニュアルの使い方

Ⅲ. 地域リハの課題と展望

地域包括ケアシステムの構築に向けた継続的な研修会や人材育成のマネジメントシステムの構築を目指し、2025年問題の少子高齢化社会及びそれ以降の対応できる・必要とされる専門職団体となるべく平成28年度も研修会を重ねていきたいと考えています。

公益社団法人 大分県臨床検査技師会

会長 佐藤元恭



I. 協会の現状

当会は、公益社団法人に移行して2年目を迎えた。社員（正会員）総数726名と会員も増加し職能団体として学術部（生物化学分析部門、染色体・遺伝子部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、臨床生理部門、臨床血液部門、臨床一般部門、病理細胞部門、臨床検査総合管理部門）は、43回の研修会と学術合同講演会や大分県臨床検査医学会など会員相互の情報交換、技術、知識の向上を目指して活動してきた。さらに、組織部は5つのブロック（県南豊肥、県西、県北、別府、大分地区）で各地区のニーズに合わせた研修会をはじめ交流会などを開催し、横の繋がりを強化している。企画部は、各地区の市町村主催の健康イベントへの協力や各団体との共同開催など、臨床検査技師の業務内容などを認知していただく事に力を注いだ。

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

公益事業として、日臨技委託公益事業の全国「検査と健康展」、大分県臨床検査技師会の主催では毎年開催している“がん予防啓発”、“AIDS 予防啓発”、さらに他の医療団体との活動で“げんきフェア”（医団協 11 団体共催）、大分地域リハビリテーション研究会の活動として「大分県リハ支援センター・地域リハ研究会合同研修会」「大分地域リハビリテーション研修会」の活動や地域で開催される健康イベントへの協力などが増え今年度は4か所と公益事業が増えてきた。全国「検査と健康展」では、糖尿病コーナー・動脈硬化コーナー・肺機能検査コーナー・メタボ検査コーナーなどに分け簡易血糖検査、肺機能検査、呼気CO濃度、血管年齢検査、脈波図検査、頸部血管エコー、骨密度測定、体成分計測（InBody 検査）、健康相談コーナーには臨床専門医会から派遣して頂いた2名の医師と臨時診療所開設者として大分大学の内科専門医1名の3名体制で対応して頂いた。栄養相談コーナーには、栄養士会から2名の管理栄養士の方にご協力いただいた。来場（受付）数257名と昨年を上回る市民の参加をいただき、アンケートには健康意識の高い方々から来年に向けての希望などたくさんの意見をいただいた。また、2年ぶりにAIDS 予防啓発活動として初の映画鑑賞会を行った。映画の内容は、海外で事故に遭い、輸血された少女がHIV感染した。7年ぶりに日本に帰国することになり、高校生となった少女はAIDSを発症していた。周囲の理解が得られずに苦悩する姿を描いたものであったが、やや高齢の方から学生の方が来場され映画の後半には涙ぐむ人も見られ、映画の趣旨であるAIDS 予防啓発や差別を無くすための理解をしてもらえた。また、27年度は4か所の健康イベントに協力依頼があり竹田市、日田市、別府市、大分市で健康チェックを行い特定健診の受診率向上やCKDの予防啓発を行った。

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

リハビリテーションの名称を聞いて臨床検査技師会との関わりに疑問を持つ会員が多いと思われる。しかし、地域包括ケアとして捉えると地域や自治体を含めたチーム医療と考えられる。

病気になった人たちが病院（入院）だけでなく施設や自宅介護などで通院することになると、私たちとの関わりは当然繋がっている。病院の中でさらに検査室で患者さんの検体を見るのではなく、患者さんの背景を広い視野で観るためには、このような多団体との研修が必要だと思われる。

今後も大分県地域リハビリテーション研究会との関わりの中から、臨床検査技師にできる業務を見据えていきたい。

公益社団法人 大分県臨床工学技士会

会長 小川 一



I. 協会の現状

臨床工学技士は主に院内において生命維持管理装置の保守・管理、操作などを業としている。27年度でおよそ300名強の技士会会員が所属し、日夜業務に励んでいる。

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

臨床工学技士は業務の性質上、在宅分野においては現在関連が比較的低い分野ではある。しかし医療機器特に生命維持管理装置が存在すれば、大きく関与していくこととなる。

当会の地域に対する取り組みとしては、日本透析医学会と連携し災害時透析ネットワークの運用などを行っているところである。

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

慢性期病院にも臨床工学技士の定員が配置されるようになってきた。在宅血液透析、在宅酸素療法における院内での教育や、在宅人工呼吸療法など今後在宅患者の増加が見込まれる中で活動は他職種との協働含めより大きくなっていくと推測される。在宅で医療機器を使用する際の保守点検や評価などができるようにしていき地域リハ活動に貢献できるようになりたいと考える。

大分県臨床心理士会

会長 佐藤 晋治



I. 会の現状

正会員 228名、準会員 2名（平成28年3月末 現在）

〔部門〕 研修、子育て・発達支援（福祉）、学校臨床、産業労働、医療保健高齢者・HIV、被害者支援、司法、倫理、広報、代議員、事務局

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

（1）会議への参加

- ・第13回拡大運営会議 平成27年5月19日（出席者：北吉直子）
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 27年度の役員会議・運営会議 井野辺病院
役員会：年2回（出席者：北吉直子）運営部会：年6回（出席者：羽坂雄介）

（2）研修会の参加・発表

- ・一般社団法人 日本臨床心理士会 第6回 医療保健領域担当者研修会
日時：平成27年12月6日（日）10：00～16：00 場所：ホテル機山館
内容：「公認心理師法について」日本臨床心理士会 専務理事 奥村茉莉子
 - ・各県の取り組み報告：沖縄県、東京都
 - ・日本臨床心理士会医療保健領域委員会活動報告 ・グループ討論及び報告
 - *参加：加藤真樹子（大分県厚生連鶴見病院）
- ・第6回大分地域リハビリテーション・ケア研究会大会
日時：平成27年11月3日（火） 場所：別府ビーコンプラザ
テーマ「医療・介護・福祉、ともに考えるまちづくり」
 - *参加：羽坂雄介（JCHO 湯布院病院）

（3）医療保健高齢者・HIV部門主催自主企画・研修会

第10回 医療現場と「つながる」臨床心理士の集い

日時：平成27年8月9日（日）13:00～16:00 場所：コンパルホール視聴覚室（交流会含む）

参加者：大分県内の臨床心理士、大学院生 21人

趣旨：今年度より「生涯発達」に沿った医療臨床心理の現場からの報告をメインテーマとして、各領域と医療現場を横断的につなぐ研修会をシリーズ開催し、更なるネットワーク作りを行う。

テーマ：「生まれる生命を育み、母子間の関係性を援助する」（シンポジウム）

●司会進行 麻生健二（佐藤病院）

●シンポジスト

「生まれてくる子供のために夫婦力を磨く不妊治療」 稗田真由美（セント・ルカ産婦人科）

「子育て支援の活動と課題」 松田絵莉（佐伯市役所）

「就学前後の母子関係の理解と支援について」 斎藤美由紀（元別府市スクールサポーター）

(4) HIV/AIDS 部門活動 ～平成 27 年度大分県エイズカウンセラー派遣事業～

大分県の委託事業として下記のとおり活動した。

- ・主として血液製剤で感染した人と家族（遺族を含む）、および関係者への支援
- ・大分県主催の HIV 検査相談員研修会への講師派遣（H27.12.18：関口愛、山口直子、西村育子）
- ・九州沖縄地区 HIV カウンセリング会議・研修会（H.28.2.26：稗田真由美）
- ・大分県エイズカウンセラー派遣事業連絡会議
（H27.5.18, H27.9.5, H28.3.1：大嶋美登子、今瀬玄子、稗田真由美）

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

臨床心理職の国家資格化のご報告をいたします。心理職の業務の適正化を図る公認心理師法が平成 27 年 9 月 9 日、参議院本会議で全会一致で可決、成立しました。文部科学省、厚生労働省を主務官庁とした、心理職として初の国家資格が誕生します。国家試験は指定試験機関（日本心理研修センター）が年に 1 回以上行うこととなっております。施行は公布日から 2 年以内です。施行 5 年後の見直し規定も盛り込まれております。臨床心理士会など心理の関係団体にとっては、半世紀にわたる悲願がようやくかなったこととなります。大分県地域リハビリテーション研究会および加盟団体などのみなさまには、多大なるご協力、ご支援をいただきましたこと、本当にありがとうございます。

また、平成 27 年度は、諸事情により「大分リハビリテーション心理研究会」の開催ができませんでした。しかし、地域リハに関心を持ち活動するメンバーが徐々に増えてはきています。引き続き、地域の方への心理的支援、家族支援、社会復帰支援などに対して臨床心理士として関わりをもっていけるように活動を行って参ります。

このたびの熊本・大分地震につきましては、大分県地域リハビリテーション研究会のネットワークで連携しての援助活動を模索しているところです。現在は、大分県臨床心理士会災害支援対策本部をたちあげ、会員による情報交換をしながら、活動をすすめております。

平成 27 年度も全国一斉「こころの健康電話相談」に大分県臨床心理士会として参加し県民の方から相談を受けることができました。

来年度も、より一層他職種との協働と連携を図り、地域で必要とされる職種を目指して努力していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。